

中山 11

発走 15:45

Table with columns for race numbers (15, 14, 13, B11, B10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and rows for horse names, jockeys, and other details.

前走重賞で好走
アイヌウォリアーズは中山未勝利でも、牡馬相手に好タイム

Table with columns for horse names and rows for race statistics, including time and distance.

悔れない4歳勢
ブルーネージュはオックスズ着・秋華賞4着の実力馬

第33回中山牝馬ステークス(GIII)
(ローレル競馬場賞)

Table with columns for horse names and rows for race statistics, including time and distance.

馬場が流れ一気に浮上
オメガハートロケットは新馬

実績。上り調子が魅力
タイコイズS勝ちミナレット

Table with columns for horse names and rows for race statistics, including time and distance.

1フレイムコード
廣井助手手小倉遠征でも体は減らなかつた

馬単
各馬一長一短で難解だが、中心はブルーネージュ

Table with columns for horse names and rows for race statistics, including time and distance.

2グレイスフラワー
狂えば

連軸はブルーネージュ
春から秋にかけて、一線級相手の重賞で

馬単 3連複 展開 本紙の見解 連軸はブルーネージュ

相本の複連 冬の休養でスランプ脱出 昨年のこの時期に中山千八のフワフワを快勝した

競馬人情

ボスニア・ヘルツェゴビナのヤブラニツァ出身。バビド・ハリルホジッチ。そう活字を読みながら、意味はちがうけれども、今週の競馬の「フリーズレビュー」というのも、まだおれには馴染んでいないあなあって思ってしまう。

フリーズRで勝つのはクインズリングだよ。そう信じるワケは簡単。前走の菜の花賞で単勝を買い、中山マイルの大将枠という不利をあさりと克服してくれたシーンに感動しちまって、その感動がよみがえってくるからだ。



阪神のF・レビューは、75年にテスコガビー(桜花賞は大差の独走)が制したところ、一時期1200mだったのが、ずっと重要なトライアルである。ところが、80年代にマックスビューティ(桜花賞は8馬身差ながら、1600mのOP特別だったチュウリップ賞)桜花賞の日程で大成功しはじめた。94年からチュウリップ賞が重賞になると、エアグルーヴなどが続き現在の桜トリアルF・レビューは、土曜のアネモネS(中山)などと同じようなトーンに変わってきている。先週のチュウリップ賞を制したのは、ココロノアイだった。その3代母は87年の桜花賞マックスビューティである。そのココロノアイの出現に合わせるように、同じ一族のノーブルヴィーナスが、きょうのF・レビューに出走する。ノーブルヴィーナスは、その6代母カクモト(父セントライ

連続の栗東からの長距離輸送をクリアしたというの、かなりの能力の持ち主だと思うワケ。でもまあ、おれの知りあいで馬券のうまい人、よく穴を取る人って、「パドックでピンときたんだとか」、「返し馬がバツグンだったよとか言うんだ。おれ、パドックを見ているも、返し馬を見ているも、そういうことを50年もやっているのに、ピンとくることなんかないんだよな。

仕方ない。てめえの感動を頼りにするしかない。馬単で⑩②、⑩③、⑩④、⑩⑤、⑩⑥、⑩⑦、⑩⑧、⑩⑨、⑩⑩、中山牝馬Sも、バウンスシャッセのちょうど1年前のフラワーズの他馬と接触があつての1着は、おれのなかで絵になっている。馬単③⑨、③⑩、③⑪、③⑫、③⑬、③⑭、③⑮。

トキノミノル、マックスビューティ、グリーングラス、さらにはフジマドンナ(父シンザン)、現代のブチコと似たような色合いの声毛馬ゼンマツ、プリマドンナ、カンパリー、などが牝系を進展させたタイランツクインの一族は、最近はかなり枝が細くなっていた。久しぶりにこの一族から誕生したココロノアイが桜花賞の有力候補となり、F・レビューでノーブルヴィーナスが③着以内に快走して桜花賞に一着に出走すると、少し忘れられていた名牝系が復活する。 (柏木)

順位	騎手	名馬	所属
1	戸北	三枝	吉田勝田丸
2	北村	宏典	浦名豊
3	田中	勝田	浦田丸
4	丸田	勝田	浦田丸
5	丸田	勝田	浦田丸
6	丸田	勝田	浦田丸
7	丸田	勝田	浦田丸
8	丸田	勝田	浦田丸
9	丸田	勝田	浦田丸
10	丸田	勝田	浦田丸



ウッドチップでは調教時間中に2回、馬場をならすためハロー車が入ります。その直後は、良い馬場状態を狙った馬たちの調教が殺到。そんな忙しい時間の中でも、ひと際目立つ動きを見せたのが、⑩Rのバウンスシャッセです。

仕掛けるというよりも鞍上が軽く手綱を緩めると、それだけで鋭い反応を見せ、楽々と1馬の動きは圧巻の内容でした。オークス③着後、着順はさえませんが、秋華賞は千通過58秒0の速い流れを自ら捕まえて動く⑦着。差し勢が上位を占める中、しぶとい粘りを見せています。道悪の前走は参考外、フラワーズの勝ち馬が、この中山千八で復活します。

年	ウイングレット	チアアフルスマイル	メイショウオスカ	ウイングレット	キストウヘン	ザレマ	ヒカルアマランサス	ドナウブルー	ノーブルジュエリー
18	②	②	②	②	②	②	②	②	②
17	②	②	②	②	②	②	②	②	②
16	②	②	②	②	②	②	②	②	②
15	②	②	②	②	②	②	②	②	②
14	②	②	②	②	②	②	②	②	②
13	②	②	②	②	②	②	②	②	②
12	②	②	②	②	②	②	②	②	②
11	②	②	②	②	②	②	②	②	②
10	②	②	②	②	②	②	②	②	②
9	②	②	②	②	②	②	②	②	②
8	②	②	②	②	②	②	②	②	②
7	②	②	②	②	②	②	②	②	②
6	②	②	②	②	②	②	②	②	②
5	②	②	②	②	②	②	②	②	②
4	②	②	②	②	②	②	②	②	②
3	②	②	②	②	②	②	②	②	②
2	②	②	②	②	②	②	②	②	②
1	②	②	②	②	②	②	②	②	②



海外ロックバンドに最近ハマった先輩。私も中学時代は洋楽に夢中！深夜のランキング番組は毎週、欠かさず見たものだ。当然、歌詞は？ノリだけでしたが、ね。中山千八は連勝の舞台。もう決める。

そこにある千四のGⅡ 阪神に外回りコースが設置される前は、芝千四と芝千六はスタート地点が違うだけだった。今は芝千四は内回り、芝千六は外回り。重大な違いがある。桜花賞が外回り千六になった2007年以降、桜花賞馬8頭中6頭はチュウリップ賞(外回り千六)出走馬、フリーズレビュー(内回り千四)に出走し